



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 カップ・クリエイティブ株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	40,108	0.6	292	102.7	380	77.5	256	△9.5
29年3月期第2四半期	39,870	△5.3	144	△89.1	214	△84.3	283	△71.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 272百万円 (△25.0%) 29年3月期第2四半期 363百万円 (△66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	5.27	5.27
29年3月期第2四半期	5.84	5.83

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	31,829	11,318	35.5	231.58
29年3月期	29,621	11,008	37.0	225.29

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,284百万円 29年3月期 10,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 平成30年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,268	2.3	2,521	—	2,703	—	1,383	—	28.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	49,414,578株	29年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	685,748株	29年3月期	717,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	48,711,534株	29年3月期2Q	48,623,348株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、食材価格の高騰、人材確保の競争の激化、食の安全・安心に対する社会的関心の高まりに加え、消費者の節約志向の影響から、経営環境はより一層の厳しさを増しております。

このような状況の中、店舗改装（17店舗）や新規ロゴへの看板変更（一部店舗を除く）を行うなど、新規顧客の獲得及びリピーターの増加を目指してまいりました。

新規出店については、本年4月に一関店、6月に安中店の計2店舗をオープンいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は401億8百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は2億92百万円（前年同四半期比102.7%増）、経常利益は3億80百万円（前年同四半期比77.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億56百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

#### <回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、最高ランクの3特いくらを使用した北海道産 鮮極いくらははじめとする「かっぱ 北海道の幸」フェアや、鹿児島県産 大うなぎや山口県産 のどぐろなどの豪華ネタそろい踏み「かっぱの夏鮭」フェアの開催など、「かっぱ寿司」でしか味わえない素材にこだわった新鮮で魅力ある旬のネタを提供し、販売促進を行ってまいりました。また、6月中旬より期間限定で一部店舗において「食べ放題」といった取り組みや、7月からは新たなブランドCMの放映を開始するなど、新規のお客様にとっての来店動機の充実に取り組んでまいりました。

加えて、店舗運営の観点におきましては、お客様により良い商品・サービスをご提供すべく、調理マニュアルの見直しやスピード向上のための取り組みを引き続き行い、オペレーションの強化を図っております。

海外では、韓国で回転寿司を6店舗運営しております。メニューの定期的な見直しを中心とした、商品力・サービスの向上に注力し、改善を進めております。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は339億26百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

#### <デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大及び既存顧客の販売強化に取り組んでおります。

以上の結果、デリカ事業の売上高は61億82百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は318億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億8百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13億30百万円増加、売掛金が1億33百万円増加、建物及び構築物が4億40百万円増加、工具、器具及び備品が1億46百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結累計期間における総負債は205億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億97百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が4億9百万円減少、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が10億36百万円減少、長期未払金が5億82百万円増加、社債及び1年内償還予定の社債が27億30百万円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結累計期間における純資産は113億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億56百万円により利益剰余金が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月28日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,493	5,824
売掛金	1,672	1,805
商品及び製品	354	351
原材料及び貯蔵品	262	252
未収消費税等	368	345
その他	1,081	1,505
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,233	10,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,517	29,967
機械装置及び運搬具	4,425	4,420
工具、器具及び備品	4,318	4,502
土地	3,235	3,235
リース資産	2,020	2,187
建設仮勘定	74	33
減価償却累計額	△30,358	△30,496
有形固定資産合計	13,233	13,850
無形固定資産		
投資その他の資産	197	218
投資有価証券	853	852
敷金及び保証金	6,569	6,331
その他	497	404
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,910	7,579
固定資産合計	21,342	21,647
繰延資産		
社債発行費	46	98
繰延資産合計	46	98
資産合計	29,621	31,829

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,704	3,295
短期借入金	398	398
1年内返済予定の長期借入金	1,964	1,344
1年内償還予定の社債	540	1,110
未払金	1,110	1,451
未払費用	1,878	1,723
リース債務	461	474
未払法人税等	385	310
未払消費税等	181	367
賞与引当金	316	200
株主優待引当金	123	102
店舗閉鎖損失引当金	56	36
繰延税金負債	14	14
その他	253	271
流動負債合計	11,388	11,100
固定負債		
社債	2,190	4,350
長期借入金	1,626	1,209
長期未払金	1,179	1,761
長期預り保証金	115	91
リース債務	506	488
資産除去債務	1,467	1,449
繰延税金負債	63	1
その他	76	57
固定負債合計	7,224	9,410
負債合計	18,613	20,511
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	3,664	2,256
利益剰余金	△1,783	△108
自己株式	△673	△644
株主資本合計	11,006	11,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△4
為替換算調整勘定	△31	△15
その他の包括利益累計額合計	△35	△19
新株予約権	37	34
純資産合計	11,008	11,318
負債純資産合計	29,621	31,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	39,870	40,108
売上原価	19,315	19,326
売上総利益	20,555	20,782
販売費及び一般管理費	20,410	20,489
営業利益	144	292
営業外収益		
受取利息	31	29
受取配当金	31	44
受取家賃	136	116
自動販売機収入	34	32
雑収入	74	37
営業外収益合計	307	260
営業外費用		
支払利息	27	26
社債利息	—	8
賃貸収入原価	117	105
為替差損	53	9
雑損失	39	22
営業外費用合計	237	172
経常利益	214	380
特別利益		
固定資産売却益	2	2
退職給付制度終了益	272	—
特別利益合計	274	2
特別損失		
固定資産除却損	29	19
減損損失	—	37
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	13
特別損失合計	29	70
税金等調整前四半期純利益	459	312
法人税、住民税及び事業税	127	117
法人税等調整額	45	△61
法人税等合計	172	56
四半期純利益	286	256
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	283	256

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	286	256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
退職給付に係る調整額	108	—
為替換算調整勘定	△30	15
その他の包括利益合計	76	15
四半期包括利益	363	272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360	272
非支配株主に係る四半期包括利益	2	—



（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	459	312
減価償却費	894	831
のれん償却額	9	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	175	△115
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△984	—
受取利息及び受取配当金	△62	△73
支払利息	27	34
固定資産除却損	29	19
有形固定資産売却損益（△は益）	△2	△2
為替差損益（△は益）	53	9
減損損失	—	37
売上債権の増減額（△は増加）	△147	△132
たな卸資産の増減額（△は増加）	△83	13
仕入債務の増減額（△は減少）	△230	△409
未払金の増減額（△は減少）	235	76
未払費用の増減額（△は減少）	127	△153
未払消費税等の増減額（△は減少）	△81	185
長期未払金の増減額（△は減少）	519	△74
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△0	△19
その他	552	△146
小計	1,494	393
利息及び配当金の受取額	33	44
利息の支払額	△24	△40
法人税等の支払額	△151	△136
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,351	260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△650	△199
無形固定資産の取得による支出	△44	△54
敷金及び保証金の差入による支出	△342	△45
敷金及び保証金の回収による収入	49	43
長期前払費用の取得による支出	△28	—
その他	5	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,010	△220

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,149	△1,036
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△295	△223
社債の発行による収入	—	2,941
社債の償還による支出	—	△270
割賦債務の返済による支出	—	△166
自己株式の処分による収入	23	20
配当金の支払額	△977	△0
その他	32	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,367	1,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,043	1,330
現金及び現金同等物の期首残高	5,038	4,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,995	5,824

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月21日開催の第39期定時株主総会の決議により、資本準備金を1,187百万円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を1,418百万円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。